

地域銀行の令和 8 年 3 月期決算の概要

1. 損益の状況（銀行単体ベース）

○ 令和 8 年 3 月期の当期純利益は、国債等債券売却損や経費が増加したものの、資金利益や株式等売却益の増加を主因として、前年同期に比べ、38%の増益。

（単位：億円）

	R6 年 3 月期	R7 年 3 月期	R8 年 3 月期	前年同期比
業務粗利益	40,253	44,126	45,698	1,572
資金利益	38,835	42,367	49,747	7,381
役員取引等利益	6,726	6,916	7,233	317
その他業務利益	▲ 5,346	▲ 5,203	▲ 11,328	▲ 6,125
うち、債券等関係損益	▲ 4,767	▲ 4,750	▲ 11,557	▲ 6,807
経費	▲ 28,610	▲ 29,292	▲ 30,886	▲ 1,593
実質業務純益	11,643	14,833	14,812	▲ 21
コア業務純益	16,409	19,582	26,368	6,786
コア業務純益 （除く投資信託解約損益）	15,983	19,101	25,304	6,203
与信関係費用(※)	▲ 2,299	▲ 1,895	▲ 2,196	▲ 300
株式等関係損益	4,276	4,397	11,500	7,103
当期純利益	9,582	13,088	18,043	4,956

※ 与信関係費用について、正の値は益を、負の値は損を表す。

	R6 年 3 月期	R7 年 3 月期	R8 年 3 月期
貸出金（末残）	322.9 兆円	333.2 兆円	349.1 兆円

2. 不良債権の状況（銀行単体ベース）

○ 令和 7 年 3 月期に比べ、不良債権残高・不良債権比率ともに低下。

	R6 年 3 月期	R7 年 3 月期	R8 年 3 月期
不良債権残高	5.7 兆円	5.5 兆円	5.4 兆円
不良債権比率	1.73%	1.64%	1.54%

3. 自己資本比率の状況（銀行単体ベース）

○ 令和 7 年 3 月期に比べ、国際統一基準行の総自己資本比率は上昇した一方、国内基準行の自己資本比率は低下。

（国際統一基準行：10行）

	R7 年 3 月期	R8 年 3 月期
総自己資本比率	13.45%	13.90%
Tier1 比率	13.20%	13.60%
普通株式等 Tier1 比率	13.16%	13.54%

（国内基準行：87行）

	R7 年 3 月期	R8 年 3 月期
自己資本比率	10.23%	10.16%

（注1）記載金額・比率は、四捨五入して表示。

（注2）R6年3月期の集計対象は100行（地方銀行62行、第二地方銀行37行及び埼玉りそな銀行）

R7年3月期の集計対象は98行（地方銀行61行、第二地方銀行36行及び埼玉りそな銀行）

R8年3月期の集計対象は97行（地方銀行61行、第二地方銀行35行及び埼玉りそな銀行）

（注3）与信関係費用・不良債権の計数には、再生専門子会社分を含む。